

質問4. ジェンダーについて(自分で記述する)

回答者 番号	自分で記述する(Self-describe) 記述
	記述なし

質問5. 所属する学会について〈複数回答可〉(その他)

回答者 番号	その他記述
※	なし
※	一般社団法人リサーチ・アドミニストレーション協議会
※	日本植物学会、アメリカ生化学分子生物学会、アメリカ植物整理学会
※	日本DOHaD学会、日本免疫毒性学会、日本毒性学会、日本衛生学会、Society of Toxicology (USA)、International DOHaD Society
※	日本動物学会、日本比較内分泌学会

質問6. オンラインポスター発表について〈複数回答可〉(その他)

【回答項目】

1.よかった 2.よくなかった 3.オンラインポスター発表には参加しなかった 4.その他

回答者番号	回答	その他記述
※	1/2/4	複数の発表を聞くことができるのは、良かった。ただ、もう少し時間を細切りにして、発表者も視聴者も、時間的ロスを少なくした方が良いと思った。一つの発表を聞いた後、他を見て回ると、終了後や離席中だったり、視聴できなかったものもあった。また、新規視聴者のために、同じ発表を複数回されている発表者もいらっやって、視聴者としてはありがたいが、大変そうだった。
※	2/4	正直に言って、このオンラインポスターの企画は最低だったと思います。企画の趣旨は理解してますし、遠方からや時間に制限のある方が参加することは意味があると思います。しかし、実際は多くの方がオンラインポスターの日にちを初日とは捉えていませんでした。もし、行うのだとすれば、現地参加と同日に行うべきです。たとえば、会場にモニターを設置し(すでにあるものを利用し)ポスターを表示して、zoomで繋ぐなど、「工夫」が必要だと思われます。個人的に、オンラインポスターの日にちは移動日だったので、全く参加することができませんでした。
※	4	参加に手間取ってしまい、判断が難しい。

質問7. 指定シンポジウム(135分・8件)について<複数回答可>(その他)

【回答項目】

- 1.よかった 2.適切でないと感じる点があった 3.その他

回答者番号	回答	その他記述
※	3	視聴しなかった
※	2/3	選択と集中されたテーマばかりで、全く面白味のないシンポジウムの選択で、センスが感じられませんでした。必要なのでしょうか。

質問8. 公募シンポジウム(135分)・ミニシンポジウム(80分)について<複数回答可>(その他)

【回答項目】

- 1.よかった 2.適切でないと感じる点があった 3.その他

回答者番号	回答	その他記述
※	2/3	数が多すぎる
※	3	視聴しなかった
※	2/3	テーマが重複し過ぎです。もう少し多様性がないと、「分子生物学会」である意味がないと思います。また、質問時間が短すぎて十分でないことがほぼ全てのセッションでそうでした。質問する時間もないと、活気が出てきません。また、たとえばコーヒープレイクの時間や終了後に少しバッファ時間を入れるなどし、交流できる時間を入れるべきだと思います。もう少し海外のカンファレンスの良いところを見習い、世界基準の学会を目指すべきだと思います。
※	2/3	重複演題と感じられるものがあった。シンポジウム間の調整がある程度必要。

質問9. 公募シンポジウムの企画応募条件に「指定演者のうち70%以上を特定のジェンダーとしない」が入っていたことについて<複数回答可>(その他)

【回答項目】

1.賛同し支持する

2.理解はするが適切か疑問が残る

3.適切でないと思う

4.その他

回答者番号	回答	その他記述
※	2/4	ジェンダーについては聞かれることを嫌がる人もいるので、必要ありません。

質問10. オンサイトのポスター発表について<複数回答可> (その他)

【回答項目】

1.よかった 2.よくなかった 3.その他

回答者番号	回答	その他記述
※	3	参加していないのでわからない
※	2/3	発表時間が短すぎる演題数が多いため興味があるポスターを見切れない
※	3	参加しなかった
※	3	区切りある13時から、などのほうがわかりやすいと感じた。
※	2/3	時間は明らかに短いです。ポスター会場はシンポジウムなどと比べ活気があり、聴きたいポスターを聴けなかったという声も多かったです。特に高齢男性に多いのですが、一人の人がずっと居座ると他の人が聞けなくなるので、その辺の注意を運営側からしていただきたいです。ポスター賞は発表による審査のないという形で、本人の研究への貢献度合い、理解度が測れないため、意味がないと思います。今回のような形であれば必要ないと思います。
※	3	特段どちらとも言えない。量の割に時間が短く感じる。

質問11. 各日のタイムテーブルについて〈複数回答可〉(その他)

※英語のシンポジウムを全日程に配置、シンポジウムの時間帯は常に日本語/英語セッションが並行

※シンポジウム(135分)の前にミニシンポジウム(80分)を配置

※オンサイトポスター発表は午後一番の時間帯

【回答項目】

1.よかった 2.よくなかった 3.その他

回答者 番号	回答	その他記述
※	1/3	同日に神経の発表が固まっており、3日間バランスよく分けてほしかった
※	3	参加しなかった
※	3	午後のシンポジウムがもう少し早く終わるといいと思った
※	2/3	シンポジウムとミニシンポジウムの違いがよく分からなかったです。何を目的として分けているのか。なんなら、ミニシンポジウムの方が活気があり、面白かったです。

質問12. フォーラムについて〈複数回答可〉(その他)

【回答項目】

1.よかった

2.よくなかった

3.フォーラムには参加しなかった

4.その他

回答者 番号	回答	その他記述
※	4	参加しなかった
※	3/4	時間帯が遅すぎた。内容には興味があったため、日程が伸びても良いので、日中の枠に入れて欲しい。

質問13. 年会で導入したシステム・サポート体制などについて〈複数回答可〉(その他)
 ※アトラス社Confit: 年会参加登録/演題登録、要旨・プログラム検索/視聴サイトシステム
 ※オンラインポスター・講演セッションはZoomウェビナー使用

【回答項目】

1. 不便を感じず年会に参加できた 2. 不便を感じるがあった 3. その他

回答者 番号	回答	その他記述
※	2/3	ブックマークした演題の発表時間がわかるように、時間軸に沿ったプログラムの表に反映されるようにしてほしい。
※	3	参加しなかった
※	2/3	プログラムが見にくく大変不便だった。スマホの画面で見にくく逐一ログインを求められるのも面倒だった。また、ポケットプログラムのタイムテーブルに書いてあるセッションの題が変な形で略されており、実際の題と比較して一致させるのに苦労した。
※	2/3	不便しか感じなかった。なぜアプリを使えないのか。毎回ログインする必要があり、本当に不便だった。参加者のことを本当に考えているのか？
※	2/3	Confitはいちいちログイン場面に戻るため使いづらかった。

質問15. 経費節減のため参加章・ポケットプログラム(日程表などのプログラム小冊子)の事前送付を行わなかったことについて<複数回答可>(その他)

【回答項目】

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| 1.特に手間や不便さを感じなかった | 2.年会参加費を抑えるためなら許容できる |
| 3.年会参加費が多少上がっても事前に印刷・郵送してほしい | 4.その他 |

回答者番号	回答	その他記述
※	4	年会参加費(後期)は十分に高かった。参加証が入場制限の機能を果たしているか疑問。
※	1/4	やはりこの位大規模の学会になるとアプリは必要
※	2/4	プログラム小冊子の現地配布は大賛成。参加章も現地配布が良いのではないだろうか。手間だろうか。

質問19. 分子生物学会では「学会・年会の国際化」を促進しています。そのために、100～200万円程度を年会の特別予算として用いるとしたら、どのような使途がよいと思いますか<複数回答可>(その他)

【回答項目】

- 1.海外機関と連携して年会参加者向けの実用的な企画を行う費用
- 2.公募シンポジウム等で海外演者を招聘する際の旅費補助増額
- 3.海外在住の若手会員へ年会旅費を援助
- 4.講演セッションの通訳・字幕サービス等の言語サポート費用
- 5.その他

回答者番号	回答	その他記述
※	2/3/4/5	日本語の英語字幕があると、日本語セッションでも海外参加者が楽しめるかもしれません。
※	1/5	今や海外の学会との共催は必須だと思います。
※	2/3/5	国際化を考えているなら、本当に改革しないといけないと思います。特に今回の年会は最悪でした。
※	4/5	若手や高校生の参加を推進しているため、教育のためにも言語サポートがあると良いのではないかと。

質問21. 今後の年会の開催形式について〈複数回答可〉(その他)

【回答項目】

- 1.オンサイト開催を基本としたハイブリッド開催がよい
- 2.オンライン先行プログラム+コンパクトな完全オンサイトの併用がよい(MBSJ2023神戸年会形式)
- 3.完全オンサイト開催がよい
- 4.完全オンライン開催がよい
- 5.その他

回答者 番号	回答	その他記述
※	3/5	公開シンポジウムなど一般向けの企画は、オンラインとオンサイトの両方で実施し、オンデマンド配信も行う
※	1/5	オンデマンド配信があると、同時時間帯に行われた非参加の講演も聴講できるため助かる。

質問22. 今後の年会における他学会との連携についてお聞きします<複数回答可>(その他)

【回答項目】

- 1.単独開催/他学会と連携企画/他学会との合同大会が、数年ごとにあるのがよい
- 2.他学会との連携企画を増やすのがよい
- 3.他学会との合同大会を増やすのがよい
- 4.ConBio2017の時のような、コンソーシアム形式の合同大会がよい
- 5.他学会との合同開催・連携企画の必要性をあまり感じない
- 6.その他

回答者 番号	回答	その他記述
※	1/6	これ以上年会を大きくするのはむしろ害と思う
※	2/6	海外の研究者との交流の機会を増やすために、海外の学会と共催を行うとよい。
※	3/6	生化学会とどう住み分けているのか、もはやよくわからない。合同大会のみにした方がいいのでは。

質問23. 前問までの設問・回答に関連するコメントや、その他年会全般についてのご意見があればお書きください。ここが良かったので続けてほしい、あるいはここを工夫すればさらに良くなるといった改善案など、率直なコメントを広くお寄せくださるようお願いいたします。

回答者 番号	意見記述
※	分生年会は会期に比して内容が十分に盛りだくさんなので、研究発表以外の企画を色々行わなくても良いように感じます。
※	今回は毎日雨だったこともあり、国際会議場とマリンメッセ間の移動、マリンメッセA館とB館の移動が少し面倒に感じた。
※	交通費と宿泊費が高いので、多くの会員が参加し易い開催地を設定するとよいでしょう。
※	プログラムPDFのサイズが大きすぎて不便だった。3日分で1.3GBはやりすぎ。文字だけなのだから10分の1の解像度でも読めたはず。
※	今回の年会はこれまで参加したものと比べ最悪でした。同じような内容のシンポジウムが続き、質問時間も短く、活気を感じませんでした。また、若い人の発表も少なく、成長の場としても果たしていないように感じました。交流をする場も少なく、無駄なことにお金を費やすくらいなら、コーヒーブレイクの時間を入れるなど海外のカンファレンスの良いところを見習うのはいかがでしょうか。
※	素晴らしい年会でした。楽しめました。ありがとうございました。